



2024 年度
第 47 号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけませんか？

文化体育観光部
体育団体管理監督の
実効性強化法案
文化体育委員会を通過



「断食 10 日目」
朴チャンボムを訪れた
柳スンミン
大韓体育会 1 人が問題



監査院
大韓体育会運営監査
着手
不正の情報提供を受ける



暴力で懲戒処分
体育会長を非難
解任幹部控訴審も
「有罪」



勝利も幸せも
諦められない
ロマンリーダーシップ
の誕生



*

01 スポーツ朝鮮 2024.11.27**「スポーツ倫理センター懲戒要請不履行時、財政支援 2 年制限」
文化体育観光部、体育団体管理監督の実効性強化法案、文化体育委員会を通過**

文化体育観光部とスポーツ倫理センターの体育団体に対する管理、監督権限を強化する内容を盛り込んだ国民体育振興法改正案が国会文化体育観光委員会を通過した。文体委が 25 日の全体会議で議決した「国民体育振興法改正案」の骨子は、最近の体育団体を巡る論難と関連して、文体部およびスポーツ倫理センターの管理監督権限を強化する内容だ。

文体委は、陳ジョンオ議員と申ドンウク議員（以上、国民の力）らが代表発議したスポーツ倫理センター関連法案など、国民体育振興法改正案 7 件を文体委代案（修正案）として提案することにした。常任委の代案は本会議で優先的に表決される。現行法上、文体部長官はスポーツ不正および人権侵害に対して職権またはスポーツ倫理センターの要請で体育団体責任者に対する懲戒を要求できるが、懲戒の実質的権限が該当体育団体にあつて実効性がないという批判が多かった。今回の改正案は第 2 条で「体育界人権侵害」（運動競技、訓練、体育団体の運営などに関連して発生する人権侵害や差別行為）を定義し「人権監視官」呼称を「人権保護官」に変更した。また、現場点検および実態調査の際、関係機関の協力義務を明示した。第 18 条ではスポーツ倫理センターの調査結果に対する異議申請制度の新設など被害者保護措置を強化する一方、文体部長官およびスポーツ倫理センターの体育団体に対する懲戒など措置要求権を拡大し、補完要求および再審議要求など関連手続き規定を補完した。懲戒要求の実効性のための補助金支援制限規定を用意した。「文化体育観光部長官は体育団体が正当な理由なしに期限内に措置要求を履行しない場合、該当体育団体に対して 2 年以内の範囲で財政支援を制限するよう中央行政機関の長、地方自治体の長および体育団体に通知することができる」という条項を新設した。法案が可決されれば、文化体育観光部は懲戒要求にとどまらず、個別体育団体に対する勧告是正命令と補完および再審要求スポーツ倫理センターの調査結果に対する異議申請制度づくり懲戒要請不履行時の財政支援制限措置などができるようになる。

出典：<https://sports.chosun.com/sports-news/2024-11-27/202411270100183770029322>

02 連合ニュース 2024.12.01**「断食 10 日目」朴チャンボムを訪れた柳スンミン「大韓体育会、1 人が問題」**

柳スンミン（42）前大韓卓球協会会長が李ギフン（69）現大韓体育会長の 3 選出馬撤回を要求し断食中の朴チャンボム（55）前優秀協会会長を訪ね、「李ギフン 3 選阻止」共同目標を再確認した。



柳前会長は1日午前、ソウル松坡区の大韓体育会前で10日間断食中の朴前会長を訪ね「健康に気を付けてこそ声を出すことができる。断食期間が長くて心配だ」と挨拶をした。

朴前会長が「誤ったことを防ぐためには（体育会長の）候補一本化をしなければならない」と話すと、柳前会長は「そうだ。今、大韓体育会は一人のために問題だ」と李会長を狙った。

二人は来年1月14日に開かれる第42代体育会長選挙への出馬意思を明らかにした状況だ。

柳前会長は3日に予定された記者会見で、体育会長選挙への出馬を公式宣言する予定だ。

先月22日に建てられた朴前会長の断食闘争テントに「反李ギフン連帯」人物が訪ねてきて意を共に分かち合った。

檀国大学の姜シンウク（68）名誉教授が先月25日に真っ先に訪れ、姜テソン（75）前ソウル市体育会長が28日、安サンス（78）前仁川市長が29日、それぞれ朴前会長に会って慰めた。

彼らは皆、体育会長選挙への出馬意思を明らかにした人物だ。

先月27日には陳ジョンオ国民の力（45）議員、30日には安ミンソク元議員（58）が訪問するなど、前・現職国会議員の訪問も続いた。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20241201033000007?input=1195m>

03 ヘラルド経済 2024.11.27

監査院、大韓体育会運営監査着手・・・不正の情報提供を受ける



監査院が最近、文化体育観光部と対立している大韓体育会などの運営全般に対する監査に着手した。

監査院は27日「国家代表など選抜・支援・保護および大韓体育会運営などに対して特別監査着手」関連報道資料を通じてこの日から大韓体育会などに対する資料収集に突入したと明らかにした。

監査院は、柳インチョン文化体育観光部長官が今年9月に「大韓体育会の業務不適正」を、李ギフン大韓体育会長が来月に「文化体育観光部の違法・不当な体育業務是正」をめぐり、公益監査を請求するなど対立が生じ、監査を決定した。

監査院は「最近になって国家代表指導者・選手選抜過程に対する透明性と公正性問題が持続的に提起され、選手訓練・活動支援と負傷・人権侵害などにもなる保護に対して不公正な契約と適時性論難がふくらんだ」とし「これを総括する大韓体育会と傘下種目団体などの運営においても国会・言論で権力独占と予算不当執行疑惑などが継続的に提起された」と説明した。

監査院は文化体育観光部長官と大韓体育会長などがそれぞれ請求した公益監査請求事項のうち、確認・検討が必要な一部事項に対しては今回の監査で一緒に点検する計画だ。

一方、監査院は選手が経験した不条理や人権侵害などの被害はもちろん、大韓体育会と傘下種目団体の運営上の不正も情報提供してもらうことにした。

監査院は「今回の特別監査を通じて体育界の慢性的・構造的問題はもちろん、不当な慣行を改善する」と伝えた。

出典：<https://biz.heraldcorp.com/article/10005224?ref=naver>

04 連合ニュース 2024.11.30

暴力で懲戒処分を受けると体育会長を非難・・・解任幹部控訴審も「有罪」



過去に犯した暴力事件で全羅北道体育会から解任されると、虚偽事実をまき散らし全北体育会長などの名誉を毀損した前職幹部が控訴審でも有罪を宣告された。

全州地裁第3-2刑事部（李チャンソプ部長判事）は30日、名誉毀損の疑いで起訴された元全北体育会幹部A氏（59）の控訴審で、被告の控訴を

棄却し、罰金300万ウォンを言い渡した原審を維持したと発表した。

A氏は2022年6月、全北体育会前で記者会見を行い「全北体育会長と事務局長が職権を乱用し職員らに上級者である私を警察に告訴するようにした」とし、「またスポーツ倫理センターに嘆願を入れて事件をマスコミに情報提供し体育会職員らの分裂を助長した」と主張した。

当時、A氏は体育会職員への暴行や職場内でのいじめ、公金の不適正使用などの不正が浮き彫りになり、解任された状態だった。

彼は記者会見で自身の過去の誤りを認めながらも「体育会の人事上の処分過程は『人権蹂躪』に近かった」とし、全北体育会長と事務局長が自身の懲戒を主導したという趣旨で発言した。

反面、全北体育会は「A氏に対する処分は文化体育観光部傘下のスポーツ倫理センターと人権全数調査、自主特別監査、人事委員会など適法な手続きを経た」とし懲戒の正当性を強調した。

1審裁判所は、A氏が記者会見場にいた体育人やジャーナリストなどを相手に虚偽事実を公然と発言し、全羅北道体育会長や事務局長の名誉を傷つけたと罰金刑を言い渡した。

これに対しA氏は「当時の発言は公共の利益のためのもの」として無罪を主張し控訴したが、2審裁判所の判断も原審と違わなかった。

控訴審裁判所は「被告人は特別な根拠がないのに記者たちの前で被害者が『職権を乱用した』と断定的に話した」とし、「これに伴い被害者の社会的評判が少なからず損傷したので被告人の罪質は非常に良くない」と指摘した。

それと共に「被告人は1審では反省する態度を見せ、控訴審では納得できない理由で公訴事実を否認し無罪を主張している」とし、「被告人が被害者と合意できなかった点などを考慮する時、原審の刑が裁量の合理的範囲を外れたと見ることはできない」と判示した。

A氏は1980年代アジア大会のメダリストで、該当種目では広く知られ、長年体育界に携わってきた人物だ。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20241129127100055?input=1195m>

05 ハンギョレ 2024. 11. 28

「勝利も幸せも諦められない」… 「ロマンリーダーシップ」の誕生



プロバスケットボール・ソウル三星の練習場には目立つ光景がある。監督が選手たちと一緒にコート駆け回る。パスをしたり、たまにはシュートも打つ。監督は選手たちの練習を鷹の目で見守りながら評価する人ではなかったか。「一緒に汗を流していいですね。ハハ」それが何の問題かというように照れくさそうなこの人、男子プロバスケットボール（KBL）初の80年代生まれの司令塔、金ヒョボム（41、1983年生まれ）監督だ。

プロスポーツに80年代生まれの監督の風が吹いている。2020年代に入って試みたが、今年4大スポーツにすべて広がった。バレーボールが始まりだった。チョン・グァンジャン、コ・ヒジン監督（1980年生まれ）、大韓航空のトミー・ティリカイネン監督（1987年生まれ）、韓国電力のクォン・ヨンミン監督（1980年生まれ）がそれぞれ2020年、2021年、2022年から指揮棒を握った。サッカーは4月に辞任したチェ・ウオングォン（1981年生まれ）大邱FC監督が2022年11月に80年代生まれ監督時代を開いた後、今年水原三星のヨム・ギフン監督（1983年生まれ）、全北現代の金斗◆R（キム・ドゥヒョン）監督（1982年生まれ）と続いた。野球は今年初めて1981年生まれの首長（KIA、李ボムホ）が誕生した。

女子バスケットボール（WKBL）は新韓銀行のグナダン監督（1982年生まれ）が2022年にスタートを切ったが、男子バスケットボールは金ヒョボム監督が初めてだ。最近、高陽ソノも1984年生まれの金テスル監督を選任し、若手監督の風は激しくなっている。バスケットボール界のある関係者は「疎通が重要な時代になり、選手たちと遠慮なく交流できる若い監督たちが関心を集めているようだ」と話した。

選手たちと一緒にプレーし、枠組みを崩した金ヒョボム監督も疎通する「ロマンリーダーシップ」として注目される。金ヒョボム監督が作戦タイムの時、選手たちを尊重しながら対話し、士気を高める場面を盛り込んだ映像は人気だ。怒鳴りつけて睨む監督に慣れていたバスケットボールファンは、これを「浪漫作戦タイム」と呼び歓呼する。18日、龍仁サムストレーニングセンターで会った金ヒョボム監督は「選手たちが幸せにバスケットボールできる雰囲気を作ってあげたい。誰の顔色も伺わずに幸せになってこそ集中できる」と話した。

幸福追求の80年代生まれの監督らは、そのためチームの雰囲気づくりに気を使う。金テスル監督は最近、初練習の時、「音楽もかけて楽しく（しよう）」と言って選手たちを驚かせた。金ヒョボム監督が今年正式監督になってから、選手たちに戦術の前に先に注文したのもこの4つだ。「理解心・配慮、幸福、尊重、善意の競争」金ヒョボム監督は「バスケットボールはチームスポーツであるだけに、この文化が確立されれば戦術的な部分も構想した通りにうまくいくだろう」と話した。

試合外の部分も気にする。李ボムホ監督は、選手の妻の誕生日に花をプレゼントした。権威を捨て、人間的に近づこうとする80年代生まれの監督たちのコミュニケーション方式だ。誰かが私のことを気にかけているという考えはモチベーションになるかもしれない。金ヒョボム監督も選手の誕生日を祝う。

「しかし、李ボムホ監督が選手の妻まで気遣うのを見て、『私はまだもっと学ばないといけないな』と思いました。これからは選手の娘の面倒も見てみようと思います。ハハ」

このような哲学は、選手時代の多様な経験に基づいている。スター選手出身の80年代の監督たちは権威的な位階秩序の中で運動した。金ヒョボム監督はさらに、「泣き叫ぶからといって、選手の性向が変わる

わけではないようだ。むしろ恐怖が生じる」ということを悟った。李ボムホ監督もプロデビュー後、守備のミスなどで胸を痛めていたので、うまくいかない時の気持ちを誰よりもよく知っている。金ヒョボム監督は「連敗すると選手たちが監督を怖がり、それで自ら萎縮する。そういう時、監督として忍耐しながらできるという希望を持たせなければならない」と話した。

金ヒョボム監督は司令塔の提案を受けた時、若いことに対する負担感もあったという。「色々な監督が私の意見を聞いてくれるなどたくさん助けてくれる」とは言うが、まだ保守的なスポーツ世界で若い監督の登場は時には尊重されないこともある。指導者の経験がほとんどない金テスルが、ソノの新しい司令塔に任命された時も、疑いの目があった。80年代生まれの監督が戦術なしに哲学だけを掲げるという否定的な意見も出ている。

結局、成績で示さなければならない。李ボムホ監督は今年赴任初年度にチームを優勝に導き「兄貴のリーダーシップ」を認められた。金ヒョボム監督が率いる三星は、シーズン序盤は振るわない。27日現在、2勝9敗（10位）。金ヒョボム監督は、戦術の核心だった李デソンが負傷でプレーできず、オフシーズンに準備した戦略を使うこともできなかった。李デソンが負傷して準備した戦術の50%が飛んだ。第2ラウンドでも「逆転」する驚くべき結果を期待することは難しい。金ヒョボム監督は「休息期に訓練方式をもう少し具体的で細分化して準備した」とし「最後まで最善を尽くす」と話した。

しかし、選手を尊重し、人権を考える金ヒョボム監督の価値観を応援する人は多い。「韓国バスケットボールにもこのような監督がいなければならないのではないか」とも言う。多様性が結局、リーグをさらに豊かにし、発展させるからだ。金テスル監督まで合流し、80年代生まれの監督のための応援の声として出ている。あるプロバスケットボールファンは個人ブログに「勝つことも結果を出すことも重要だが、その過程も無視できない（…）私はこのチーム（三星）が敗北しても十分に他の人々に良い感情と感じを与えることができる、良い監督でありチームだと思う」として「応援する」と書いた。

出典：<https://www.hani.co.kr/arti/sports/basketball/1169613.html>

06 週間スポーツニュース

体育記者出身のソンベク・ユジョンオン中学校委員、韓国障害者水泳連盟会長選出

https://www.nocutnews.co.kr/news/6253206?utm_source=naver&utm_medium=article&utm_campaign=20241202030407

忠北農協、学生体育用品購入支援金 7500 万ウォン寄託

https://www.newsis.com/view/NISX20241202_0002980231

「2036 夏季五輪全北誘致」のために決意を固める鄭ガンソン体育会長

<https://www.news1.kr/photos/7015356>

「錦湖江辺一帯の体育施設改善」大邱東区、チジョドゥンチ体育施設の開場

https://www.newsis.com/view/NISX20241202_0002980147

蔚州郡国民体育センター、2年連続で文化体育部優秀公共体育施設に選定

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20241202043200057?input=1195m>

朴チャンボム前ウシュ協会長、李ジョンゴル前議員の勧誘で断食中止決定

<https://www.inews24.com/view/1789373>

「フェンシング」オ・サンウク、母校と大田市体育会に寄付金 3000 万ウォン伝達

<https://www.donga.com/news/Society/article/all/20241202/130548281/2>

検察、鎮川選手村の家宅捜索…「李ギフン体育会」捜査本格化

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20241128074352004?input=1195m>

光州市立無等体育館プールの市民が「外面」

<https://view.asiae.co.kr/article/2024120209154676526>

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>